

居宅設置型の保護犬シェルター「千のおうち」運営を通じた高齢シニア犬たちの保護活動

特定非営利活動法人アグリドッグレスキュー

特定非営利活動法人アグリドッグレスキューは、動物愛護、保護の精神の啓蒙普及を図ることを主眼としており、殺処分されてしまう犬を減らすために保護や新しい飼い主を探す活動をされています。

【活動背景】

現在、行政センターにて殺処分されてしまう犬の数は減少傾向にありますが、高齢犬や病気の犬、体の不自由を抱えた犬たちは殺処分になる可能性がほかの犬よりも高い現状があります。そのためアグリドッグレスキューでは、そのようなシニアや病気を持った子を「千のおうち」にて保護しています。



【活動目的】

「千のおうち」は居宅設置型のシェルター施設です。これにより資金面だけでなく人的パワーの側面でも持続可能な活動の実現を目指しています。また、シェルター運営のノウハウをホームページ上で公開することにより、動物愛護に関する知見を社会に広めることが目的です。



【助成金の用途・活動結果】

助成金は、犬用の車いす、治療費、シェルターの衛生的な環境整備に必要な洗濯機、エアコン、掃除機などまた、住宅街のシェルターのため、必要な防音窓や、ドアの設置工事に活用されました。団体ホームページに「千のおうち」の活動をお伝えする専用ページも作成し、シェルター見学を受け入れるなどノウハウを公開しています。

【団体からのメッセージ】

一般の住宅をシェルターとして「千のおうち」を運営しています。老犬になると認知症状が出てくる子もいて、夜間に吠え続けてしまうこともあります。雨戸を閉めたとしても近隣に声が漏れることを気にしながら運営をしていました。今回の助成で防音ドア等の工事をすることができ、周囲への配慮への心配を減らすことができました。車いすも既製品ではなくその子の体形に合ったものを作り、自分の足で歩く時間を増やしてあげることができ、犬たちのクオリティオブライフが大きく改善されていることと思います。